

第1学年1組 体育科学習指導案

1 単元名 用具を操作する運動遊び

2 単元について

(1)運動の特性

① 一般的特性

体のバランスをとったり移動したりする動きや、用具を操作したり力試しをしたりする動きを意図的に育む運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身に付ける運動である。

② 児童から見た特性

- ・様々な用具を操作する、楽しい運動である。
- ・それぞれの児童が多様な動きをつくる、楽しい運動である。

(2)児童の実態

本学級の児童は運動に積極的な児童が多く、休み時間には外で遊ぶ姿も見られ、体育の授業にも意欲的に取り組んでいる。雨が降り外に出て遊ぶことが出来ない日にはとても残念がる様子が見られ、運動に対する意識は高くみえる。しかし、多くの児童が個人の興味のあることしかしようとせず、集団で一つのことをすることはほとんど見られない。また、個人がしたいことをする過程で、集団で決めたルールを守れない児童も数名いる。単元を通して集団での行動に慣れていくためには、整列時の声掛けや遊んでいる児童への注意などで対応したい。

(3)教師の指導観

本単元では、様々な用具を用いた多様な運動をすることで、「用具を操作する動き」と「体のバランスをとる動き」の二つの技能の向上をねらいとした授業を目指していく。

「用具を操作する動き」は、ボールやフラフープ等の様々な用具を用いた運動を通して、無駄な動作を少なくした動きを学習し、身体能力の向上を図る。

「体のバランスをとる動き」では力試しの運動やバランスを取りながら移動する運動などを通して、体の使い方を学習し、運動の質を高める。

3 単元の目標

- (1) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- (2) 体つくりのための簡単な運動の行い方を工夫してできるようにする。(思考・判断)
- (3) 体のバランスをとったり移動をしたりすると共に、用具を操作したり力試しをしたりする動きが出来るようになる。(技能)

4 単元の指導計画(6時間扱い)

(1) 学習過程

時	1 ②	3 4	5 6
ね ら い	○ボールを用いた運動に慣れる。 ○ペアやグループでの活動に慣れる。	○リング、フラフープを用いた運動をする。	○体のバランスをとる動きの感覚をつかむ。

0 ↓ 45 分	○オリエンテーション ・ 全身を使った運動遊び ・ ボール送りルレー	○リングバトンルレー ○フラフープでのキャッチボール	○手押し相撲 ○タオル引き相撲
-------------------	--	-------------------------------	--------------------

(2) 学習と指導・評価 【関】は関心・意欲・態度【思】は思考・判断【技】は技能の評価基準を表す

段階	学習のねらい・活動	指導・評価(指導◇ 評価基準◆)	評価方法
はじめ 45分×2	1 授業の約束、準備運動の仕方を知る。 2 ボールを使った運動遊びに慣れ、楽しむ。	◇約束やきまりの徹底を図り、安全面への意識を高める。 ◇笛を使って、素早く行動できるようにする。 ◆学習の進め方が分かり、進んで活動に取り組むことが出来ている。【関】 ◆ボールを用いた運動の仕方を理解している。【思】	観察
なか 45分×2	1 集合、準備運動をする。 2 リングバトンをする。 3 フラフープキャッチボールをする。	◇運動の基礎を身に付けられるようにする。 ◇投げる際の姿勢がとれるようにする。 ◆リング、フラフープを用いた運動の仕方を理解している。【思】	観察
まとめ 45分×2	1 集合、準備運動をする。 2 手押し相撲をする。 3 タオル引き相撲をする。	◇単元を通した振り返りをする。 ◇バランスをとる動きが出来る児童を取り上げ演習させ、苦手な児童の支援をする。 ◆バランスのとれた動きをとることが出来ている。【技】	観察

5 本時の学習指導(2/6時)

(1) ねらい

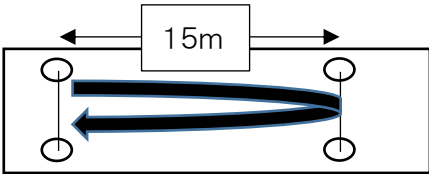
○チームで考え、工夫してゲームに参加できる。(思考・判断)

(2) 準備

・ボール ・ホイッスル ・カラーコーン

(3) 展開 ○指導、◆評価、◎十分満足できる具体的な姿、△努力を要する児童への手立て

段階	学習内容・活動	指導上の留意点
導入 6分	1 集合・整列・挨拶をする。 2 準備運動をする。	○集団での規律をしっかりと守るよう指導する。

展開 34分	3分	3 本時のねらいを知る。	
	7分	4 慣れの運動をする。 ・コーン間(15m間隔)をさまざまな走り方で走る。 ・スキップ ・後ろ向きで寝た状態からスタート	○リレーのルール(走者はバトンを受け取ってから走る等)について触れ、ボールリレーの説明を円滑に行えるようにする
	8分	5 ボールリレーをする。 ・ソフトバレーボールを使用する。 ・片側のカラーコーンの線に垂直に一直列に並ぶ ・先頭の人があるボールを持ち、反対側の線まで来たらボールを上へ投げ、取る。 ・その後、戻り次の人にボールを渡し、列の後ろに並び座る。 ・全員最初に座ったチームの勝ち	○ボールを投げずに手渡しするように指導し、規律を意識させる。 ○「全員座らないと勝ちじゃないよ」などと声掛けをすることで、児童間での注意を促す。 ○一番早いチームに演習させ、リレーのコツ(バトンパスの仕方)やチームワーク(早く座る、声掛け等)を全体で共有する。
	13分		
	3分	6 チームで練習の時間を取る。 ・バトンパスや走順をチームごとに目標に設定し、考える。 7 もう一度ボールリレーをする。	○チームを巡視し、5で共有したことを支援する。 ○共有したことをうまく使えてリレーに参加できていたかを確認する。 ◆チームで考え、工夫してゲームに参加できる。【思】
整理 5分		8 用具を片付ける。 9 挨拶をする。	○素早く安全に片づけられるように、チームごとにボールを片付けるよう指導する。

6 備考 在籍児童数 35名(男18名 女17名) 男女混合異質5チーム(1チーム7名)編成